

- 駐車地
- ↓ 0:03
- 原田登山口
- ↓ 0:25
- 東北門跡
- ↓ 0:11
- 北帝土墨跡分岐
- ↓ 0:14
- 十字路
- ↓ 0:16
- 防火帯合流
- ↓ 0:23
- 展望台
- ↓ 0:12
- 基山(404m)
- ↓ 0:03
- 東休息所
- ↓ 0:14
- 西休息所
- ↓ 0:14
- 大礎石
- ↓ 0:15
- 北へ
- ↓ 0:10
- 東北門跡
- ↓ 0:18
- 駐車地

# 基山(404m)

2021.05.31(月) 晴れ

駐車地→原田登山口→東北門跡→北帝土墨跡分岐→十字路→防火帯合流→展望台→基山(404m)→東  
休息所→西休息所→大礎石→北へ→東北門跡→駐車地



原田登山口手前の林道路肩に駐車し、登山口へ向かう。



狭い林道を緩く上って行く。



原田登山口が見えた。



ブロック階段の左脇に案内板を見る。



ブロック階段を上って行く。



修行場が見えて来た。



沢筋に立つ不動明王。



観世音菩薩堂に立ち寄る。



沢の左岸沿いにスギ植林内を緩く上って行く。



電線真下 上空を見上げると九電脊振幹線の送電線が見える。



スギ植林内の傾斜が緩んで来た。



巡視路分岐に出会う。傍に鉄塔標柱が立つ。



振り返る。



その先の東北門跡が見えて来た。



東北門跡を抜け、振返る。



災害復旧工事により、高原川沿いのルートは通行止めの案内板が傍に立っていた。



東北門跡西側の斜面に取付く。



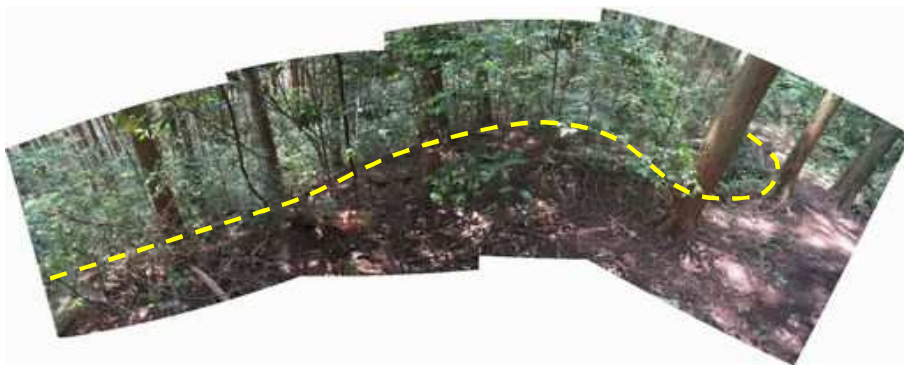
復旧工事が終わった崩落斜面を見下ろす。



雑木斜面を上って行く。



北帝土塁跡分岐に出会い、右へ向かう。



土塁線は元地形と明らかに違い、沢側傾斜が段折れになっている所が多く見られる。



ヌタ場



弱い沢の左岸側の表層には栗石層が見られる。



平坦路を進む。



土塁線右側の斜面は急勾配で、その下の斜面は緩んでいる。



土塁北端の中央部は開削されている。植林の為の作業路跡かと思われる。



土塁線を南へ向かう。



土塁線の東側には、小高い丘尾根が南北に伸びている。



十字路に出会い直進する。右は巡視路、左は北帝門跡へ至る。



土塁際に行く。右側は急傾斜となっている。



南西へ向かう。



土塁線上のスギ植林斜面を緩く上って行く。



斜面上方に人工的な石積を見る。



右横から見た石積。



北平坦地 100坪程の平坦地形が広がっている。





土塁線を辿ると、東側が小高くなった**西平坦地**を見る。



南へ向かう。



北峰から南へ延びる防火帯が見えた。



防火帯に**合流**する。南に展望台方面が見える。



防火帯際に沿って南へ向かう。



北帝門跡分岐に出会う。



史跡コース分岐に出会い、斜面を上って行く。



展望台に到着。360°の展望が得られる。



西休息所から基山方面を望む。



草スキー場上部から西の展望。



基山(404m)に到着。



一等三角点:防住山が設置され360°の展望が得られる。



山頂部を散策し、史跡コースを下る。



大礎石に立ち寄る。



再度、北帝門跡分岐に出会い、丸太階段を下る。



丸太階段を緩やかに下って行く。



緩傾斜面を下って行く。



此処から北へ向かう。



丸太階段に取付く。



弱い尾根筋を横断し、丸太階段を下る。



分岐に出会い、右へ向かう。左へ上り詰めると北帝門跡へ至る。



木橋を渡る。



北帝門跡分岐に出会い、左へ向かう。



東北門跡に到着。



門跡を出る。



スギ植林地を緩く下って行く。



観世音菩薩堂の脇を抜ける。



修行場を抜け、ブロック階段を下る。



原田登山口を出る。



駐車地に帰り着いた。



ウバユリ 蕾



タツナミノソウ



サツキツツジ



ドクダミ



ハナミョウガ



スイカズラ



マツゲ



オオトラノオ 蕾



ヤマツツジ



ノアザミ



クサイチゴ 実



サルトリイバラ 実



コガクウツギ



ニガナ



ナルコユリ



コバノフユイチゴ 実



コウゾリナ



ハルジオン



ニワゼキショウ



フナバラソウ



カキ



スイバ



ヤマナシ 実



ソクシンラン





ウツボグサ



ウマノアシガタ



スズサイコ



サイノウシャジン



コナスビ



ミヤマイボタ



キランソウ



ユキノシタ